

回覧

地域包括支援センター中央北だより

9月は世界アルツハイマー月間

1994年「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。

アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的とし、様々な取り組みを行っています。



昨年度のアルツハイマー月間の取り組み

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です

～早期発見・早期受診が大切です～



認知症は、症状が軽い段階から医療機関にかかり、適切な治療や生活支援を行う事で、症状を軽減したり進行を遅らせることができます。早めにかかりつけ医や専門医に相談することが大切です。



早期受診のメリットとは

- ◇病気を理解できる時点で受診し、本人と家族が少しずつ理解を深めていけば、生活上の障害、その後のトラブルを減らす事も可能
- ◇治る病気や一時的症状もあるので、診断を受ける事が大切
- ◇薬物治療の早期開始によって、軽症の時間を長くできる
- ◇若年性アルツハイマー型認知症では、配置転換など職場での配慮があれば働き続けることが可能な場合がある



【お問い合わせ先】

岐阜市地域包括支援センター中央北

住所：岐阜市京町2丁目12番地

☎ (058) 213-0128

開所時間：月曜日～土曜日 9:00～17:00 (日・祝日・12/29～1/3除く)



岐阜市認知症啓発
キャラクター

例えばこんなこと、認知症が原因かも・・・

Aさん(40代・会社員)

- ・勤務している会社の取引先との約束を忘れてしまい、取引先から連絡が入っても、自分が約束をしたことを覚えていなかった。
- ・バスで通勤しているが、ある朝、どこで降りれば良いかわからなくなり、困った。
- ・今まで担当していた会議の資料を作成することができなくなってしまった。



Bさん(60代・主婦)

- ・冷蔵庫の中に大量の豆腐があることを、娘から指摘される。
- ・『前と料理の味が変わったんじゃないか。美味しくないぞ』と夫に言われてしまい、ショックを受けた。
- ・夜7時頃までに夕食を作り終えていたが、9時になっても完成しなくて焦ってしまう。

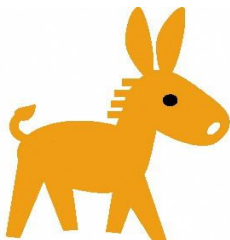


Cさん(80代)

- ・長年車を運転してきて、運転には自信があったが、突然路上でどうやって運転すればいいのかわからなくなってしまい、途方にくれてしまった。
- ・『おじいちゃんの車の前がへこんでいるんだけど、どこかでぶつけたんじゃない?』と家族から言われたけど、わしはぶつけてないぞ!!



認知症サポーター養成講座を受けてみませんか



岐阜市地域包括支援センターでは
随時、**認知症サポーター養成講座**を行っております。
興味のある方はお住まいの岐阜市地域包括支援センター
までお問い合わせください。



世界アルツハイマー月間啓発イベント ～共に学ぼう、共に生きよう～

日時: 令和3年9月3日(金) 18:00～9月10日(金) 15:00

会場: 岐阜市役所 1階 市民交流スペース ミナト

内容: 認知症に関する展示

オレンジガイド等認知症に関する資料の配布

★認知症サポーター養成講座: 9月10日(金) 10:00～11:30

申し込み先: 高齢福祉課 地域包括支援係 (058)214-2090

*コロナ感染状況により内容が変更になる場合もあります

